



TITLE:

NIIメタデータ・データベースの概要と京都大学での取り組み

AUTHOR(S):

CITATION:

NIIメタデータ・データベースの概要と京都大学での取り組み. 静脩
2003, 40(1): 12-13

ISSUE DATE:

2003-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/37710>

RIGHT:

NIIメタデータ・データベースの概要と京都大学での取り組み

情報管理課電子情報掛

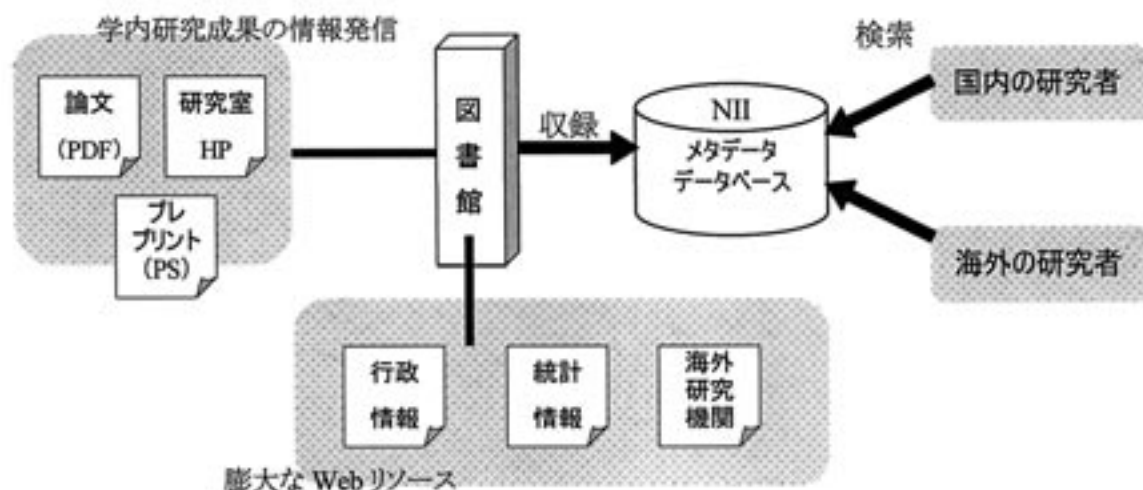
1. メタデータ・データベースとは

メタデータ・データベースは、インターネット上に公開・掲載されている学術情報・研究資源（ホームページ・論文のPDF・データファイルなど）を、効率的に検索・収集するためのシステムです。冊子体の図書や雑誌を探すための目録・OPACと同じように、インターネット上のデジタル資料についても"目録"を作成し、データベースとして構築しよう、というものです。そのようなWeb上のデジタル資料についての目録情報を、ここでは"メタデータ"と呼んでいます。

NIIで構築されているメタデータ・データベースでは、主に大学・研究機関によるアカデミックな内容の情報・資源に特化しています。収録対象は、大学・研究機関の研究者が自ら発信・公開しているデジタル資料、及び、それ以外のさまざまな機関・団体が公開している学術的な

デジタル資料の2種類です。それら研究成果物についてのメタデータは、図書館員によって分析・作成され、そのタイトル・発信者・URLなどがデータベースに格納されます。アカデミックな主題に特化しているため、YahooやGoogleなどの一般的なWebサービスのように、商業・娯楽といった雑多な情報がノイズとして混在してしまうことはありません。また、情報整理を専門とする図書館職員が資料を吟味し、メタデータを作成することによって、適切な分類・件名・キーワードや内容解説などが付与されます。

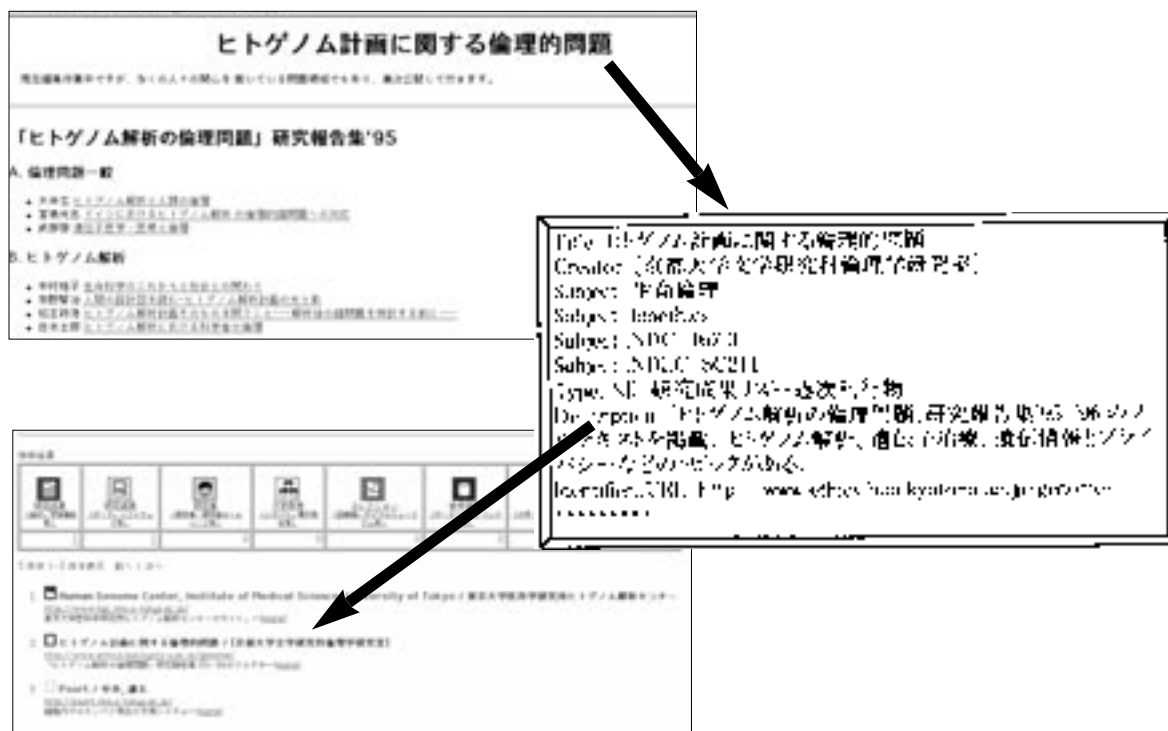
国内大学・研究機関における研究成果の円滑なる流通、広く世界への情報発信に寄与できるよう、また、研究者・学生のみなさんにとってより探しやすい実用的なデータベースとなることを目指しています。現在200近い大学・機関がこのシステムに参加しており、入力作業をすすめているところです。



2. 情報資源とメタデータ

メタデータの内容は、ダブリン・コア（インターネット上のデジタル資料を記述するために、15項目の基本的な記述要素が定められている）に準拠し、かつ、NIIメタデータ・データベース用のルールが付加されています。例えば、資料

タイプを独自に規定し、そのデジタル資料が論文なのか、データベースなのか、研究者のホームページなのかを判別・絞込みできるようにしています。またNDC（日本十進分類表）を必須とし、学問分野による分類を付加しています。



「大学Webサイト資源検索」試験公開版 <http://ju.nii.ac.jp/>

3. 京都大学における取り組み

附属図書館電子情報掛では「学内研究成果」というリンク集のかたちで、研究成果物の情報発信を実現しています。これに加え、このNIIメタデータ・データベースにも構想段階から関わり、方針作成・システム構築などに貢献してきました。平成14年の試行期間中には400件余りの京都大学学内の資源についてメタデータを入力していますが、まだ網羅的なものではありません。

附属図書館電子情報掛によるデータ入力は今も継続作業中ですが、京都大学学内全体をカバーするには、今後も相応の労力と時間を要します。学内研究成果物の網羅的な収集と効果的

な情報発信には、各部局図書室の御協力、及び先生方・研究室の皆様からの積極的な情報提供が欠かせません。インターネットを介しての情報発信をよりスムーズにするため、学内で成果をあげている研究実績を広く世界的にアピールするため、全学的な御協力を是非よろしくお願い致します。

- ・ 検索サービス「大学Webサイト資源検索」試験公開版 <http://ju.nii.ac.jp/>
- ・ メタデータ・データベース共同構築事業 <http://www.nii.ac.jp/metadata/>
- ・ 京都大学電子図書館 学内研究成果 <http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/seikaindex.html>